

# 令和 8 年度ふくい自動運転導入プロジェクト業務 に係る公募型プロポーザルの実施要領

## 1 目的

本業務は、持続可能な地域公共交通ネットワークの維持及び福井アリーナの開業を契機とした、中心市街地における回遊性の向上等を図るため、自動運転レベル 4 の移動サービスの社会実装に向けて、レベル 2 の自動運転車両による実証運行を行うことを目的とする。

この要領は、本業務に係る契約の相手方となる事業者（以下「受託候補者」という。）を選定するに当たり、プロポーザルの実施方法等、必要な事項を定める。

## 2 業務概要

- ( 1 ) 業務名 令和 8 年度ふくい自動運転導入プロジェクト業務
- ( 2 ) 業務内容 別紙仕様書のとおり
- ( 3 ) 履行期間 契約締結日から令和 9 年 2 月 26 日（金）まで
- ( 4 ) 提案上限額 81,994,000 円（消費税等含む。）

なお、見積書の金額が、提案上限額を超過した場合は失格とする。また、本業務に関する協議や各種打合せ、申請等に要する経費も業務に要する費用に含まれる。

本業務は、国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）（以下「補助金」という。）の採択を前提に事業化されるものであり、採択されない場合や採択内容によっては、事業を実施しない場合や事業内容を変更する場合がある。

## 3 参加資格

プロポーザルに参加できる者は、次に掲げる事項を全て満たす者でなければならない。

- ( 1 ) 福井市一般業務の委託に係る競争入札参加資格等に関する要綱（平成 11 年 12 月 20 日施行）の規定に基づき、福井市一般業務競争入札参加資格者名簿（以下「資格者名簿」という。）に登録されている又は公表日からプロポーザル参加申込書の提出期限までの間に、福井市一般業務競争入札参加資格申請書を提出済みであること。なお、申請書を提出中の場合、資格審査において認定されなかった時点で本件に関する参加資格を喪失する。
- ( 2 ) 公表日から受託候補者選定の日までの間に、福井市物品調達等契約に係る指名停止等措置要領（平成 14 年 4 月 1 日施行）による指名停止又は指名除外を受けている者でないこと。
- ( 3 ) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 第 1 項の規定に該当しない者であること。
- ( 4 ) 破産法（平成 16 年法律第 75 号）の規定により破産の申し立てがなされていないこと。

- (5) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づく更生手続開始の申立てをしている者（更生手続開始の決定を受けている者を除く。）又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づく再生手続開始の申立てをしている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (6) 役員（役員として登記又は届出はされていないが事実上経営に参画している者を含む。以下この号において同じ。）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員をいう。以下この号において同じ。）でないこと又は役員が暴力団（同条第 2 号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者でないこと。
- (7) 参加申込をする時点において、当該プロポーザルに参加しようとする他の者との間に、次のいずれかに該当する資本的関係又は人的関係がない者であること。
- 親会社（会社法（平成 17 年法律第 86 号）第 2 条第 4 号の親会社をいう。以下同じ。）と子会社（会社法第 2 条第 3 号の子会社をいう。以下同じ。）の関係（個人事業主又は会社の役員が他の会社の議決権総数の過半数を所有する場合における、当該個人事業者又は当該役員に係る会社との関係を含む。）
- 親会社（個人事業主又は会社の役員が議決権総数の過半数を所有する場合における、当該個人事業主又は当該役員に係る会社を含む。）を同じくする子会社同士の関係
- 一方の会社の役員（個人事業主を含む。）が他方の会社の役員を現に兼ねている関係
- 一方の会社の役員（個人事業主含む。）が他方の会社の管財人（会社更生法第 67 条第 1 項又は民事再生法第 64 条第 2 項の規定により選任された管財人をいう。）を現に兼ねている関係
- (8) 当該プロポーザルにおいて、事業協同組合（中小企業等協同組合法（昭和 24 年法律第 181 号）第 3 条又は中小企業団体の組織に関する法律（昭和 32 年法律第 185 号）第 3 条に規定する組合又は団体をいう。）として参加する場合は、その組合員又は会員ではないこと。
- (9) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする者でないこと。

#### 4 プロポーザル実施に係るスケジュール

手続等	日程	手段等	提出書類
実施要領等の公表	令和 8 年 5 月 11 日（月）	福井市ホームページ	
質問提出期限	令和 8 年 5 月 20 日（水） 午後 5 時必着	電子メール	様式 1 「 5 質問の受付及び回答」を参照
質問回答	令和 8 年 5 月 22 日（金） 午後 5 時掲載予定	福井市ホームページ	
プロポーザル参加申込	令和 8 年 5 月 11 日（月）から 令和 8 年 5 月 20 日（水） 午後 5 時必着	持参又は郵送	様式 2 ～ 4 「 6 プロポーザル参加 申込書の提出」を参照
参加資格審査結果通知	令和 8 年 5 月 22 日（金）	電子メール	
企画提案書提出期限	令和 8 年 5 月 28 日（木） 午後 5 時必着	持参又は郵送及び電子メール	「 8 企画提案書の提出」を参照
審査委員会	令和 8 年 6 月上旬（予定）		
結果通知	令和 8 年 6 月中旬（予定）	郵送及び福井市ホームページ	
契約締結	令和 8 年 6 月下旬（予定）		

公募時点での予定であり、応募の状況等によっては変更になる場合があります。

#### 5 質問の受付及び回答

プロポーザルへの質問がある場合は、次のとおりとする。ただし、質問内容はプロポーザル参加申込書、企画提案書等の記載方法及び仕様書の内容等に関するものに限る。

##### （１）提出書類

質問書【様式 1】

##### （２）提出期限等

提出期限：令和 8 年 5 月 20 日（水）午後 5 時まで（必着）

提出場所：本要領 13「提出・問い合わせ先」参照

提出方法：質問書【様式 1】により、電子メールで提出すること。

それ以外の方法での質問は、一切受け付けない。

件名は、「令和 8 年度ふくい自動運転導入プロジェクト業務に関する質問」とすること。

##### （３）質問に関する回答

令和 8 年 5 月 22 日（金）午後 5 時までに福井市ホームページで公表する。

## 6 プロポーザル参加申込書の提出

### (1) 提出書類

プロポーザルに参加する者は、次のとおり必要書類を提出すること。ただし、参加申込書の提出時点で資格者名簿に登録されている者は、 の書類の提出は不要とする。

プロポーザル参加申込書【様式2】

会社概要書【任意様式】

・所在地、業務内容、設立年月日、社員数等が分かるもの

参加資格誓約書【様式3】

業務実績調書【様式4】 実績のある事業者のみ提出

・本業務と同種業務又は類似業務についての実績を示す資料を添付

福井市一般業務競争入札参加資格審査申請書を提出したことが分かる書類

### (2) 提出部数

1部

### (3) 提出期限等

提出期限：令和8年5月20日（水）午後5時まで（必着）

提出場所：本要領13「提出・問い合わせ先」参照

提出方法：電子メールにて提出するほか、全て原本を郵送又は持参にて1部提出すること。

郵送の場合は、受け取り日時及び配達されたことが証明できる方法とすること。

## 7 参加資格審査の結果通知

プロポーザル参加申込書を提出した者については参加資格要件を審査し、その結果を全ての申込者に参加資格審査結果通知書（様式5）により、令和8年5月22日（金）までに通知する。

## 8 企画提案書の提出

プロポーザル参加申込書を提出した者で参加資格要件を満たした者は、次のとおり必要書類を提出すること。企画提案は1者1提案とすること。なお、企画提案書提出期限までに提出がない場合は、参加を辞退したものとみなす。

### (1) 提出書類

企画提案書【任意様式】（A4サイズ）

企画提案書は、仕様書及び本要領9「審査方法」（3）「審査基準」を参照し、主として次の内容を記載すること。

- ・ 業務実施体制、業務工程計画
- ・ 業務実績
- ・ 企画提案内容
- ・ 実証運行の社会受容性及び技術的検証等の詳細

事業費見積書【任意様式】

別添の事業費目に従い、企画提案書の内容を実施するための費用と内訳を記入すること。

( 2 ) 提出部数

紙媒体 8 部

電子媒体 1 部 ( PDF データ )

( 3 ) 提出期限等

提出期限：令和 8 年 5 月 28 日 ( 金 ) 午後 5 時まで ( 必着 )

提出場所：本要領 1 3 「提出・問い合わせ先」参照

提出方法：( 紙媒体 ) 持参又は郵送によること。

郵送の場合、受け取り日時及び配達されたことが証明できる方法とすること。

( 電子媒体 ) 電子メールにて提出し、上記期限必着のこと。

## 9 審査方法

( 1 ) 審査委員会の設置

企画提案の審査、評価及び受託候補者の選定を行うため、審査委員会を設置する。

日時：令和 8 年 6 月上旬 ( 予定 ) 時間及び会場等の詳細は別途通知する。

( 2 ) 審査方法

プレゼンテーション及び質疑応答により審査を行う。

- ・ 持ち時間は、各提案者 2 5 分程度 ( 説明時間 1 5 分、質疑応答 1 0 分 ) とするが、進行スケジュールにより変更することがある。
- ・ 当日の持ち時間については、別途通知する。
- ・ プレゼンテーションの順番は、企画提案書の受付順とする。
- ・ 出席者は 3 名以内とする。
- ・ 業務の企画運営に携わる実務担当者が説明を行うこと。
- ・ 内容は、企画提案書に沿ったものとする。
- ・ 使用する P C、ケーブル等を持参すること。なお、スクリーン、プロジェクター等は本市で準備する。
- ・ 審査委員会当日の企画提案書等の差替え及び追加資料の配布等は認めない。

### (3) 審査基準

プロポーザルは主に以下の評価項目に基づく総合点数方式とし、評価項目合計の6割以上を最低基準点と定める。

評価項目			点数
業務遂行能力	業務実施体制	専門知識を有した者の配置など、本業務を円滑かつ着実に遂行できる実施体制がとられているか。	30
	業務工程計画	詳細な工程計画が提示され、妥当性及び業務遂行の実現性が確保されているか。	
	業務実績	過去に類似業務の実績があり、事業を遂行するための専門知識・経験等の活用を期待できるか。	
企画提案内容	事業性・実現可能性	当市が抱える交通課題を十分に把握・分析した上で、レベル4実装に向けた具体的かつ実現可能な計画となっているか。	60
	自動運転システムに関する技術	本業務において、レベル4実装を見据えた運行システムの構築がなされているか。	
	安全対策・事故対応	実証運行において想定されるリスクに対する回避策や安全対策、事故発生時における対応策が適切か。	
	持続可能性	レベル4実装後の事業継続のため、次年度以降のスケジュールや収支計画等が具体的かつ妥当であるか。	
	社会受容性の醸成	自動運転技術に関する社会受容性の向上を図るための方策が工夫されているか。	
総合的判断	評価・検証	社会受容性評価や技術的検証などについて、より詳細で具体的かつ妥当な内容となっているか。	10
	価格評価	見積金額の評価（妥当性、具体性）	
合計			100

### (4) 受託候補者の選定・公表

審査委員会において、提出された企画提案内容をより深く理解するため、提案者によるプレゼンテーションを実施し、総合的に審査した上で、最低基準点を超えた者のうち、最高得点者を、本業務の受託候補者に選定する。

最高得点者が複数となった場合、審査委員会における協議にて、受託候補者を選定する。

審査結果は、委員会後に速やかに提案者全員に文書にて通知する。ただし、各評価項目の点数等については通知しない。

審査結果については、受託候補者の団体名及び点数並びに次点者の団体名を、福井市ホームページにて公表する。

## **1 0 失格事項**

次のいずれかに該当した場合、その者はプロポーザルに参加できないものとする。

- ( 1 ) 参加資格要件を満たしていない場合
- ( 2 ) 提出書類に虚偽の記載があった場合
- ( 3 ) 実施要領等に示した、提出期限、提出場所、提出方法、書類作成上の留意事項等の要件に適合しない書類の提出があった場合
- ( 4 ) 審査委員会を正当な理由なく欠席した場合
- ( 5 ) 審査結果に影響を与えるような不誠実な行為を行った場合
- ( 6 ) 見積書の金額が、提案上限額を超過した場合
- ( 7 ) 提出期限以降における、提出書類等の差し替えを行った場合
- ( 8 ) その他、本要領に違反した場合

## **1 1 契約**

- ( 1 ) 受託候補者の選定後、契約締結に係る協議を行い、その協議が整い、補助金交付決定後、速やかに再度の見積を行い、契約の手続きを行うものとする。
- ( 2 ) 前項の契約が成立しなかった場合は、次点者と協議を行い、同様の手続きを行う。
- ( 3 ) 契約締結にあたっては、資格者名簿への登録を条件とする。

## **1 2 その他留意事項**

- ( 1 ) 本プロポーザルに参加する者は、本実施要領等を熟読し、それらを順守すること。
- ( 2 ) 提出期限以降における書類の差し替え及び再提出は認めない。
- ( 3 ) 提出書類は返却しない。
- ( 4 ) 提出書類は本プロポーザルの実施以外の目的では使用しない。
- ( 5 ) 提出書類は必要な範囲において複製を作成することができる。
- ( 6 ) 提出書類の作成及び提出に要する一切の費用は提案者の負担とする。
- ( 7 ) 提出書類は福井市情報公開条例に基づく開示請求があった場合は、原則として開示の対象となる。ただし、提案者が事業を営む上で、正当な利益を害すると認められる情報は不開示となる場合がある。なお、本プロポーザルの受託候補者特定前において、決定に影響が出るおそれがある情報については決定後の開示となる。
- ( 8 ) 提案内容に含まれる特許権など法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものを使用した結果生じた責任は、原則として提案者が負う。
- ( 9 ) 企画提案の内容については、採用決定後に福井市地域交通課と協議の上、変更して実施することがある。

- (10) 受託者は、業務遂行上知り得た情報を他に漏らしてはならない。
- (11) その他、不明な点については、福井市地域交通課に照会すること。

### **1 3 提出・問い合わせ先**

福井市都市政策部地域交通課

担 当：ふくい自動運転導入プロジェクト・チーム（帰山、島田、小川）

住 所：福井市大手3丁目10番1号 福井市役所本館6階

T E L：0776（20）5138

F A X：0776（20）5139

E-Mail：koutu-s@city.fukui.lg.jp